

災害啓発
講演会

教訓と経験から学ぶ 災害への備え



写真出典：(財) 消防防災科学センター

平成 30 年 3 月 11 日 (日)

日時

14:00～16:00 (開場時間 13:30)

～第1部～

「多摩市で今後起こりうる災害とは？その備えについて」

講師：永吉英記氏（国士舘大学防災・救急救助総合研究所 研究員）

2016年8月22日、台風により多摩市で初めての避難勧告が発令されました。災害は地震だけではないということを思い知った日でした。第1部では、東日本大震災や熊本地震等、災害発生後から各地で行われてきた復興支援活動から、住民の皆さんにとって必要な備えについて学びます。

～第2部～

「住民みんなで避難する！そのためには？」

講師：南部美智代氏（特定非営利活動法人災害ボランティアネットワーク鈴鹿 理事長）

要配慮者（高齢者や障がい者、乳幼児）の皆さんやそのご家族は、避難するときどんなことに困るのだろう？防災には住民同士の日頃のつながりが大切だと言われているけれど…。講師ご自身の体験や多摩市内で実施してきた活動（LODE）なども通して、災害時の対応のノウハウ等を学びます。

会場 多摩市関戸公民館 8階 ヴィータホール

参加費 無料

定員 200人

※申込先着順。申込方法は裏面ファックス、もしくは電話042(373)6611へ



所在地：多摩市関戸 4-72
ヴィータ・コミュニネ
【最寄り駅】
京王線〔聖蹟桜ヶ丘駅〕下
車徒歩2分

主催：多摩ボランティア・市民活動支援センター・多摩市関戸公民館